

第1153号

2026.5.21(木)

福島トンネFAX通信 週刊トンネ

福島県同胞生活相談センター
福島県郡山市鶴見坦 1-5-30
TEL 024(922)3554
FAX 024(932)6845

第5回《朝青教室》が行われました

第5回《朝青教室》が5月16日(土)に本部2階で行われました。

今回は、スマホ・パソコンそれぞれのお悩みを解決する相談時間を設けつつ、グリット線やポートレート機能、自撮りの方法など、スマホカメラで上手に写真を撮るコツについて伝授しました。

参加して下さった同胞の中には「この機能があるなんて初めて知った!」と新しい発見をしてくれた方もいて、とてもやりがいのある活動だなと感じました。

朝青ではこれからも同胞たちの生活を少しでも豊かにできるような生活セミナーを準備していきたいと思ます。

AFC(アジアサッカー連盟)U17女子アジアカップ2026

AFC(アジアサッカー連盟)U17女子アジアカップ2026(U17女子アジア杯)の決勝が17日に中国・蘇州で行われ、朝鮮代表が日本に5-1で勝利し、史上最多となる同大会5度目の優勝を決めた。朝鮮が同大会決勝で日本と対戦するのは今回で7度目で、ともに5度目の優勝をかけての対戦だった。

準決勝でハットトリックを達成したユ・ジョンヒャン選手は、「決勝は、これまで以上に自信がある。チームが勝つために良いプレーをすることだけに集中している」と述べていた。

チ・ユンナム監督は決勝戦に先立ち、「日本チームは非常に強いが、私たちが最初に得点できると信じている」と語った。

決勝では試合開始から30分、FW ユ・ジョンヒャン選手が、MF キム・ウォンシム選手が蹴ったボールを拾い、そのままゴールに押し込んだ。前半を1-0で終えた。

50分、DF パク・キョンリョン選手が遠くに放ったボールをユ選手が追いかけて、シュートを決めて朝鮮のリードを2点に広げた。53分に失点を許すも、2分後には、ユ選手のパスを受けキム・ウォンシム選手がペナルティーエリア外からカーブのかかったシュートを放ち、相手 GK の手をかすめてゴールを決めた。さらに81分、ユ選手がキム選手のパスを受けてゴールを決め、続けて89分にも得点。5-1の大勝で、2度目の連覇、5度目の優勝に輝いた。

今大会では、15ゴールをあげたユ・ジョンヒャン選手が、最優秀選手賞と得点王に、GK キム・ソンギョン選手が最優秀ゴールキーパーに輝いた。

朝鮮は準々決勝での勝利で、上位4チームに与えられるU17女子 W 杯の出場権を獲得した。10月にモロッコで開催される W 杯での3連覇、5度目の優勝に期待がかかる。(朝鮮新報)

21	22	23	24	25	26	27
木	金	土	日	月	火	水
		総聯第26回 大会(～24 日・東京)		総聯結成71 周年		